

事業所名

多機能型放課後等デイサービス さんかく

支援プログラム

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念		音楽で、この街の笑顔を増やします。子どもたちにもっと笑顔を 地域にもっと笑顔を スタッフ・講師にもっと笑顔を						
支援方針		当事業所では、音楽をベースとした支援を通じて、子どもたちが日常生活や集団活動を円滑に行えるようサポートします。音楽には、楽しさや達成感を得られるだけでなく、自己表現の手段としての役割や、コミュニケーションの促進、情緒の安定をもたらす力があります。当事業所では、こうした音楽の特性を活かし、個々の発達段階や特性に応じた支援を行います。子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、音楽の力を活かして「できた!」という成功体験を積み重ね、自信を持って社会に適應できるよう支援します。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	心身の健康・基本的な生活習慣の確立のため、音楽に合わせたリズム運動や楽器演奏を通じて、身体を動かす楽しさを体験し、健康的な生活習慣を促進する。生活の流れを音楽（入室の歌、片付けの歌など）で知らせ、見通しを持った行動ができるようにする。						
	運動・感覚	身体を適切に使う力の向上のため、手拍子や楽器演奏（タンバリン、カスタネットなど）を通じて、リズム感や協調運動を育む。音楽に合わせたジャンプや歩行運動を取り入れ、バランス感覚や体幹を鍛える。音の違いを感じる活動（速い・遅い、強い・弱いなど）を行い、感覚の発達を促す。						
	認知・行動	思考力・問題解決力・自己制御の向上のため、曲の構成（イントロ、サビなど）を理解することで、順序やパターン認識の力を養う。曲にあわせたドラムの演奏方法を考える。音楽を使った指示ゲーム（「音が止まったら動きを止める」など）を通じて、ルール理解や自己制御力を育てる。						
	言語 コミュニケーション	言葉の理解・表現力の向上のため、同じ曲を何度も繰り返し歌い聞かせ、歌詞を覚えて歌うことで、語彙力や発音の向上を図る。楽器やジェスチャーを使って自分の気持ちを表現する練習を行う。数えうたを利用し、数の理解を深める。						
	人間関係 社会性	協調性・対人スキルの向上のため、講師との合奏を通じて、他者との協調性やチームワークを学ぶ。友だちと一緒に音楽を楽しむことで、共通の活動を通じた関わりを深める。他者の演奏や歌を聴くことで、相手を尊重する態度を育てる。						
家族支援		子どもたちへの支援とともに、ご家族が安心して子育てに向き合えるようサポートを行います。音楽を活用したアプローチを通じて、家庭での関わりがより豊かになるような支援を提供します。お子さまの成長や日々の変化について共有し、保護者の悩みや不安と一緒に考える機会を設けます			移行支援		個々のライフステージに合わせてうえでの移行準備を検討しています。幼児・児童期）音楽活動を通じて、座って話を聞く・順番を守る・集団行動に参加する力を育てる。児童期）音楽を聴く・楽しむ場面を想定し、適切な振る舞いや場面ごとの行動を学ぶ。	
地域支援・地域連携		必要に応じて相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所と連携を図ります。また地域連携ネットワークへも参加し、お子様や家族をトータルでサポートします。			職員の質の向上		虐待防止検討会、事業所内支援会議、外部研修にも積極的に参加し支援内容の質の向上に努めています。	
主な行事等		季節に合わせた音楽を取り入れ活動します。（1月正月、3月卒業、5月こどもの日、8月夏休みの曲、10月ハロウィーン、12月クリスマスなど）防災訓練のほか交通ルールなども確認し事故防止に努めます。また保護者参観を実施します。						